

# 2022 年度キューピーみらいたまご財団事業計画書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

弊財団では、昨年、活動団体に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルスの影響が 2022 年度も引き続き後を引くとの前提で事業計画を設定いたしました。

この新型コロナウイルス感染防止のための「密の回避」は、「食育活動」や「居場所づくり活動」に大きな影響を与え、特に「居場所づくり活動」においてはコロナ禍以前と以後でその活動内容を大きく変える形になっています。

新型コロナ禍による生活困窮世帯の拡大、今まで以上に窮屈な思いをする子ども達は急増し、こうした子どもたちを支援対象とする「居場所づくり」支援はより一層重要になってきています。

こうしたことを踏まえて、2022 年度の助成事業では、昨年度に続き、「新型コロナ禍対応特別助成」を行うとともに、キューピー商品などの食品寄贈などの助成をさらに増やすことといたしました。

なお、今年度の助成事業申請にあたっては、新型コロナの感染対策を十分に行っていたことや、感染状態が続くことを前提に実施できる事業のお願いをいたしました。

また、例年行っております、活動団体の皆様同士の情報交換、交流の場づくりとなっている「助成授与式」や「居場所づくりサミット」は、昨年度から採用しているオンラインでの開催を視野に入れて計画します。

尚、2021 年 11 月に内閣府より顕彰事業、物品助成事業の認定を戴き、今後こうした事業にもさらに力を入れて参ります。

## 1. プログラム A 食育活動への助成

食育活動助成については、昨年に引き続き、「SDGs と連携した食育の取組み」「一人の人間のライフステージで継続的な食育が行なわれているかという視点での検証の重要性」等に重点を置き、キューピーグループが掲げるサステナビリティ目標の「健康寿命延伸への貢献」「子どもの心と体の健康支援」との連動もはかります。

昨年度から開始した「産前」（妊婦の低栄養からの低体重児の問題）と「産後ケア」（出産後 1 年を経過しない女子及び乳児の心身の状態に応じた保健指導、療養に伴う世話又は育児に関する指導、その他の援助）に関わる食育事業支援にさらに力を入れて参ります。また、居場所における子どもの食の自立支援に向けた食育活

動にも支援を広げて参ります。

2021年4月に「第4次食育推進基本計画」が発表されました。今後はこれらも参考にしながら、弊財団らしい食育助成についての検討を進めて参ります。

なお、2020年度より、プログラムに加えた「特定課題（健康寿命延伸のための食育）による3年継続助成」は今年度も新たな公募は行わず、昨年の5つの助成団体の伴走等に努め、2022年度の助成期間終了後、新たな公募を予定しております。

#### （食育活動 取り組みテーマ例）

生活習慣病予防など健康に配慮した食の普及／調理スキル向上／野菜の栽培や収穫などの農業体験／家庭や地域での共食／家庭や地域での食品ロス削減／農業従事者拡大など農業支援／食文化継承／食育コンテンツ開発／食育指導者の育成 等

## 2. プログラムB 食を通した居場所づくり支援 ～子どもの貧困対策への助成

ここでいう「貧困」とは、「経済面」だけでなく、「体験・交流」の乏しさから生まれる課題を意味しており、財団では今年もこれらの解決をめざした居場所づくり支援への助成を行います。

しかしながら、一昨年来の新型コロナ感染拡大によって、こうした居場所づくり活動は大きな変更を余儀なくされ、従来の食堂運営を縮小し、弁当配布やフードパントリーのような支援策で、子ども達、そして保護者とのつながりを維持しています。その結果、こうした活動は食堂運営よりも、より多くの食材や資金を必要とするようになりました。そしてこのような活動は新型コロナ収束後も、継続したいとする団体が増えて来ており、そうした活動団体にとって、厳しい資金状況となっています。

ただ、このような活動では子ども達の居場所の役割が果たせていないとする活動団体も多く、積極的なアウトリーチ活動を展開する団体も増えています。

弊財団では、こうした活動団体の支援の一助になればとの思いで、昨年実施した「新型コロナ禍特別助成」を今年も継続するとともに、食品などの物品助成を積極的に行って参ります。

財団では昨年から、弊財団のパートナーとしてお世話になっている全国食支援活動協力会（以降MOW）様が構築中のロジハブシステム（MOWLS）という寄贈品物流の仕組みを活用させていただき、累計で2000万円ほどの食品の寄贈をさせて

いただきました。MOWLSは予てより課題となっていた食品寄贈の提供元から全国の子ども食堂へのスムーズな流通を実現するための仕組みで、弊財団では、食品寄贈以外に、「子ども食堂サポートセンター」や「ネットワーク」のような中間支援団体の皆さんの物流体制の投資などへの助成も昨年度からさせていただいています。

なお、子ども食堂を開始して1年以内の活動団体に、立ち上げ時の食材や人件費などの運営費用を含めて助成する「スタートアップ助成」も、現場の状況に合わせた形で、今年度も継続して参ります。

### 3. 食を通した居場所づくり活動を推進するセミナーの開催

拡大する子ども食堂などの居場所づくり活動の定着をめざし、展開事例紹介や団体同士のネットワークづくりにつながるセミナーや助成説明会を東京と全国数か所で開催しております。しかしながら、今年度もコロナ禍で、昨年実施したようなオンラインでの開催で検討しております。

#### ●当年度助成計画

- ・公募期間 2021年11月1日～2021年11月30日
- ・助成対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日
- ・助成金総額予算 4300万円